

第15回 個性づくりテーマ展示

ペットとの付き合い方

～愛情と責任を持って～

展示期間 10月26日～12月26日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー

昨今いろいろな種類のペットが飼えるようになり、生活の中での楽しみの幅がとても広がったように思います。その一方で、外来種の輸入動物が民家で発見されたというニュースもよく耳にします。ペット用の災害時の対策は考えていますか。

今回は、ペットに対する「愛情と責任」について考えてみたいと思います。



中野区立南台図書館

03-3380-2661





★ペットには本当の愛情を★

動物を飼うことによって生活に癒しや温かさを得ることが出来ます。しかし、ペットを飼うにあたってはそのペットに対する責任もきちんと考えなければなりません。特に犬や猫の場合、きちんとした「しつけ」と「人間との上下関係」を明確にする必要があります。「犬や猫は大切な家族」しかし、どうしても人間にはなれません。動物を過度に人間のような扱いをしてしまうと、飼い主にとっても、ペットにとってもストレスになると思います。魚や爬虫類、リスやハムスター等の場合はそういった必要はないわけですが、どのペットも最後まで責任を持って飼わなければなりません。その動物が、地域社会で生きる為に必要なことを考えて飼う姿勢が必要です。「大きくなってきて可愛くない」「飽きた」「老犬の世話が面倒」などの理由から途中で放り投げるようなことになれば、ペットが可哀相なのはもちろんのこと飼い主にも心の傷が残ることでしょう。

そのようなことがないように、飼い始める時にペットを最後まで面倒見ることを真剣に想定する、またご家族がいれば、よく話し合う必要があります。

★社会生活を送るために適切なしつけを★



ペットが可愛いあまり、「しつけ」に重点をおかない人もいるかもしれません。例えば犬が人間と一緒にベッドで寝ると、自分も人間と同じだと思ってしまったり、しつけをせずやりたい放題にさせておくと、「自分の方が偉い」と思い込んで飼い主のいう事を聞かず、家族や他者が大変な思いをすることになります。適切な餌、温度、触れ合

い方など、飼う動物の特徴や習性をよく理解し動物との信頼関係を築くことで、しつけなどスムーズにできます。飼い主は、動物のトレーナーや獣医師にアドバイスをもらいながら、しつけを通してペットと良い信頼関係を築いていくことが大切です。

そして世の中には動物嫌いの人もあります。そういう人からも「飼い主のマナーが悪い」と言われないようきちんとしたしつけが必要です。



★災害時はペットも被災します★

大きな災害が起こった場合、飼っている動物と避難所に行くことになるかもしれません。

その時に日頃の過ごし方やしつけが大変重要になります。避難所で他の人に迷惑をかけるためには「ふせ」「待て」などの命令に従わせること、嫌がらずにケージやキャリーバッグ（持ち運びできるかばん）に入るように訓練をしておくこと、また普段から人や他の動物に接して慣れさせておくことも大切です。



◎ペットを一時的に預かってくれる人や場所の確保を！

いざという時に備え、自分のペットを知人に預かって貰えるか、事前に確認しておきましょう。

◎ペット用の防災用品の備えを！

災害時にはペット用品も手に入りにくくなります。移動用のケージと最低限の必需品を入れたペット用非常用持ち出し袋を用意しておきましょう。

・ペットフードと水(約5日分)、食器

・トイレ用品(ゴミ袋なども)

・首輪、リード、移動用のケージなど

・常備薬

・動物手帳(飼い主とペットとの写真を貼ったもの)、写真数枚(捜索用など)

・その他、毛布やペット愛用のベッド、おもちゃなど



★動物の愛護及び管理に関する法律★



「動物は命あるもの」との認識のもと、動物を虐待しないようにすることや、動物の習性をよく知った上での適正な取り扱いを定めた法律があります。

動物の健康・安全の確保と人への加害や迷惑の防止に努めること、不妊、去勢手術を行うこと、動物が自分の所有であることを明らかにすること等、飼い主の責任が定められています。

また、罰則も定められており、動物の殺傷はもちろん、捨てる行為や必要な食事・水をあたえない等の行為は、1年以下の懲役、または100万円以下の罰金などの処罰を受けます。飼い主には法的な責任があることを自覚しましょう。

ペットを飼いきれなくなり、無責任な飼い主に公園や道端に捨てられた犬や猫などの動物たちは、東京都だけで2,300頭以上(平成22年度)にのぼりました。そのような不幸なペットを1匹でも減らすよう、愛情と責任について考え、それを実際に心がけるようにしましょう。



『震災ペットを救う 3.11から学ぶペットの「防災学」』

震災したペットに関する報道に疑問を投げかけ、社会への現状改善を訴え続けている著者が、その活動と、震災に遭ってもペットを守ることができる「ペット防災学」を東日本大震災の被災地での体験とともに紹介。

藤村 晃子 著 長崎出版 2012年5月



展示リスト



書名	著名	出版社	出版年
ペットの健康手帳 病気のサインを見逃さないで！頼れる身近な動物病院 170	游学社編集	游学社	2012年7月
ビジュアル図解ネコの気持ち ゼロからわかる！	竹内徳知監修	中経出版	2013年6月
犬の問題行動の処方箋 2	中西典子 著	緑出版	2013年4月
犬もよろこぶシニア犬生活 心や体の変化にあわせた老犬とのコミュニケーションがわかる	愛犬の友編集部編 佐々木彩子 監修	誠文堂新光社	2013年6月
ハッピー☆カメカメBOOK いちばん楽しいリクガメの飼い方	小家山仁 監修	主婦の友社	2013年7月
楽しい金魚の飼い方・育て方	長尾桂介 監修	メイツ出版	2013年4月
トカゲ 世界のトカゲのタイプ別飼育	二木 勝 著	誠文堂新光社	2010年4月
はじめてのうさぎ 飼い方・育て方	岡野祐士 監修	学研パブリッシング	2012年6月
震災ペットを救う 3.11 から学ぶ「ペット防災学」	藤村晃子 著	長崎出版	2012年5月

『ビジュアル図解ネコの気持ち ゼロからわかる！』

袋に入りたがるにはなぜ？棚の上のものを落とすのはどうして？色々な行動に表れるネコの気持ちをイラストとともに解説。鳴き声や表情、しぐさから探るネコの気持ち、気まぐれな行動の意味、病気のサインなどがわかります。

竹内徳治 監修 中経出版 2013年6月

『犬もよろこぶシニア犬生活 心や体変化に合わせた老犬とのコミュニケーションがわかる』

犬も年月を重ね、シニアになることで心や体が変わっていきます。老化のサインをはじめ、犬の基本行動「食う」「寝る」「遊ぶ」を満たす方法、介護の仕方、マッサージや運動方法なども紹介します。

佐々木彩子 監修 誠文堂新光社 2013年6月



ペットについて調べてみよう

ペットについてより知識を深めたい方もいらっしゃると思います。
ここでは、犬との暮らしについての資料・情報の調べ方を紹介します。

1. 情報検索のキーワード

ペットについて調べる際に幾つかのキーワードがあります。これらを使うことで、より効率的な調べ方ができます。

ペット／コンパニオンアニマル(伴侶動物)／愛玩動物／小動物／飼育／飼い方／しつけ／マナー／狂犬病／獣医学／動物愛護管理法／アニマルセラピー／ペットロス

2. 基本的な情報を調べる

(ア)用語・データを調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
世界大百科事典 平凡社 2007年	031 セ 34	南台図書館
現代用語の基礎知識 2012 自由国民社 2012年	031 ゲ 12	南台図書館
日本と世界の愛犬図鑑 2012 藤原 尚太郎編著 辰巳出版 2011年	645.6 フ 12	江古田図書館

(イ)テーマの棚を調べる

分野	分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号
犬(動物学)	489.5	犬(飼育)	645.6	ペット全般	645.9

(ウ)ペットに関する図書を調べる

中野区立図書館ホームページの蔵書検索を使って調べる

→<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

資料情報	請求記号	所蔵館
震災ペットを救う 藤村晃子 著 長崎出版 2012年5月	645.6 フ	南台図書館
ビジュアル図解ネコの気持ち ゼロからわかる！ 竹内徳知 監修 中経出版 2013年6月	645.7 ビ	南台図書館
犬も喜ぶシニア犬生活 心や体の変化にあわせた老犬とのコミュニケーションがわかる 愛犬の友編集部編 誠文堂新光社 2013年6月	645.6 イ	南台図書館

(中野区未所蔵の場合) 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

●都立中央図書館ホームページ上の「統合検索」をクリックし、検索 → <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

(エ) 雑誌・新聞を探す

雑誌を探す→「wan」(ペットライフ社) (中央図書館)

「ONE BRAND」(ONE BRAND) (中央図書館)

原紙(朝日・毎日・読売・産経・東京・日経)→南台図書館 1階新聞コーナーにあります。

毎日新聞縮刷版→南台図書館2階大型本コーナーにあります。

3. 関連機関のご案内

● 飼い犬の登録・死亡・転居の申請など

まず犬を飼い始めたら、30日以内に登録が必要です。(生後91日以上の子犬)

その他必要に応じて、申請して下さい。

受付窓口 中野区保健所生活環境分野衛生環境担当

〒164-0001 東京都中野区中野2-17-4 TEL:03-3382-6662

中野区役所戸籍住民分野

〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL:03-3228-8818

南部すこやか福祉センター

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-41-2 TEL:03-3382-1750

南中野地域事務所

〒164-0014 東京都中野区南台3-6-17 TEL:03-3382-1457

● 狂犬病予防注射

毎年1回、4月1日～6月30日までの間に受けさせることが必要です。(生後91日以上の子犬)

受付窓口 中野区保健所生活環境分野衛生環境担当

● 飼い犬が人を噛んだ時

24時間以内に、保健所へ届け出を出す必要があります。また、噛んだ後48時間以内に犬が狂犬病にかかっていないかの検診が必要です。

受付窓口 中野区保健所生活環境分野衛生環境担当

● 飼い犬が迷子になってしまった時

周囲にチラシを貼る際は、許可が必要な場合もあります。まずは相談センターや、近くの保健所・警察署に問い合わせしてみましょう。

受付窓口 中野区保健所生活環境分野衛生環境担当

東京都動物愛護相談センター <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/douso/>

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山2-9-11 TEL:03-3302-3507

☆中野区公式 HP から確認ができます→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>



南台図書館からのお知らせ



★ クリスマスおはなし会 ★

絵本や紙芝居の読み聞かせと、簡単な工作をします。
今年はクリスマスツリーを作る予定です。どうぞお楽しみに！

日時: 2013年12月21日(土) 午後3時~4時

会場: 南台図書館2階 おはなしのへや

対象: 小学校低学年くらいまで



申し込みは不要です。直接会場までお越しください。



今回のペットへの責任と愛情というテーマはどうでしたか。

生き物に対する愛情は自分をも豊かにしてくれることと思います。ともだちとして、家族として生きて付き合える間はお互いの関係を大切にしていきたいですね。

